

令和7年度 信濃教育会「学び創造研究会」

伊那市立高遠小学校 開催要項

研究テーマ

対話を通して、見方・考え方を広げる道徳教育の実践

- 1 期 日 11月21日(金)
- 2 会 場 長野県伊那市立高遠小学校
- 3 共同研究者 信州大学大学院教育学研究科 特任教授 山浦 貞一 先生
- 4 日 程

12:30	12:55	13:00	13:20	13:30	14:15	14:25	15:15	15:25	16:20	16:30
受付		開 会 行 事	研 究 発 表		授業公開		授業者と語る会		講演・ワーク ショップ	閉 会 行 事

- (1) 受 付 12:30～12:55 (高学年玄関)
 - (2) 開会行事 13:00～13:10 (体育館)
 - ① 主催者挨拶 信濃教育会 熊谷 久仁彦 様
 - ② 会場校挨拶 伊那市立高遠小学校長 校長 下島 弘子
 - ③ 諸連絡
 - (3) 研究説明 13:10～13:20 (体育館)
研究主任 宮下 快 教諭
 - (4) 授業公開 13:30～14:15 (さくらルーム)
6年 37名 宮川 達也 教諭
道徳「幸せに生きる × ○○」
 - (5) 授業者と語る会 14:25～15:15 (さくらルーム)
 - ①授業者の振り返り
 - ②感想交流
 - ③共同研究者より
 - (6) ご講演 15:25～16:20 (さくらルーム)
山浦貞一先生のご講演の中で、ワークショップも行われます。
 - (7) 閉会行事 16:20～16:30 (さくらルーム)
 - ① 会場校挨拶
 - ② 諸連絡
- 5 その他
- (1) 自家用車でお越しの方は、別紙駐車案内をご覧ください、指定の駐車場をご利用ください。
 - (2) 上履き、飲み物は各自でご用意ください。

伊那市立高遠小学校
教頭 平澤 篤典
TEL0265-94-2070

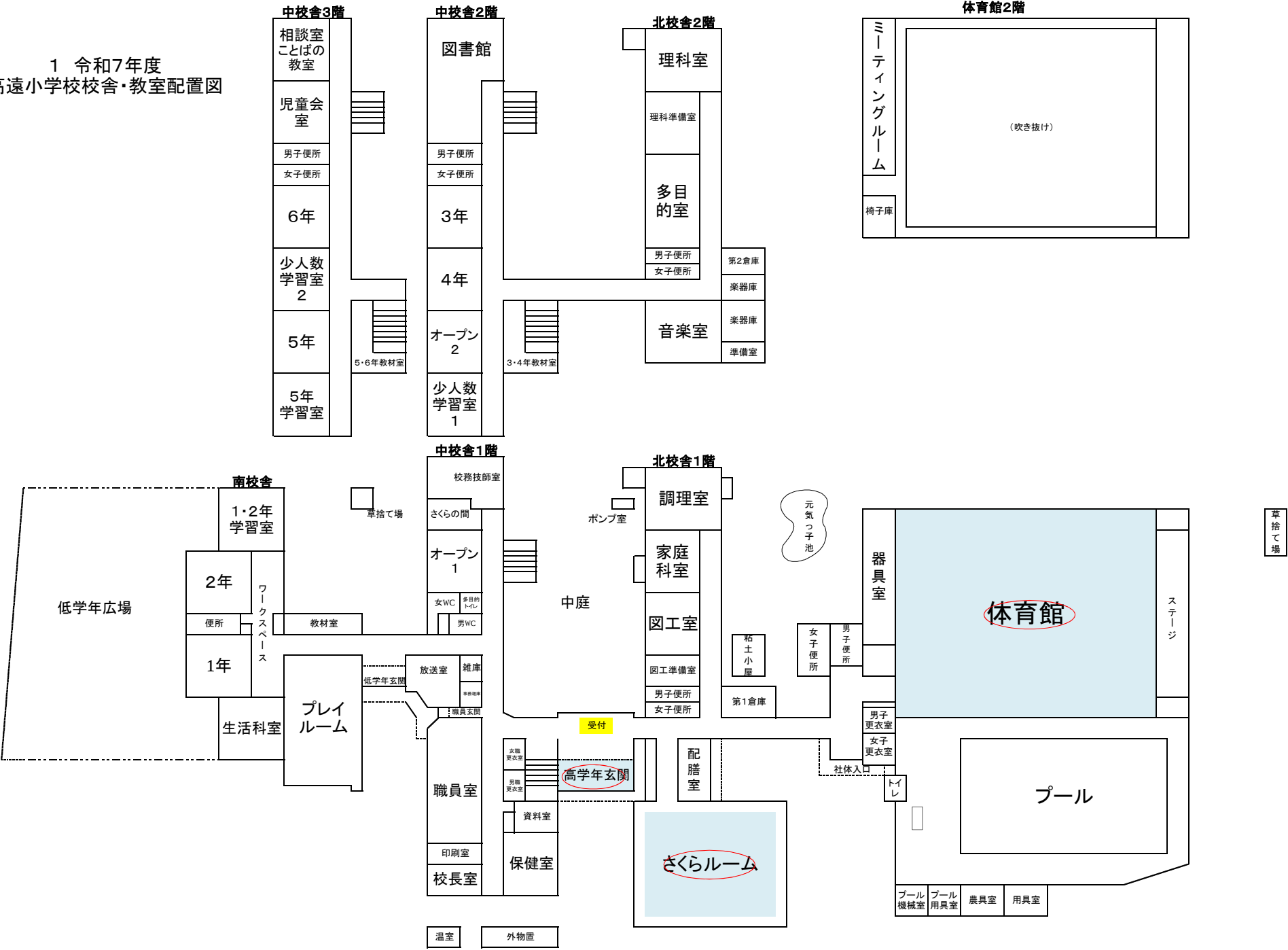
学び創造研究大 (R7.11.21) 高遠小学校交通案内



校門より敷地内に入り、校庭・体育館裏に駐車してください。
※駐車後は時計回りに校舎沿いをお進みください。 高学年玄関からお入りください。

<経路①> → ナイスロード突当り右折→「三峰川橋南」信号左折 →セブンイレブン通過→信号(名前なし)手前 15mを左折→	突当りバス停左方向へ→直進→校舎前を直進→体育館裏へ 右折→坂を下り→校庭(下)へ
<経路②> 伊那→JR 高遠駅→突当り「公園下」信号右折→「小原」信号→信号(名前なし)15m先を右折→	※敷地内では特に低学年児童の飛び出し等にご注意ください

1 令和7年度
高遠小学校校舎・教室配置図



対話を通して 見方・考え方を広げる 道徳教育の実践

2025.11.21

- 01 学校教育目標・研究テーマ等
- 02 教師一人一人の成長→子どもの成長
- 03 ゆれる教師
- 04 道徳科のカリキュラムマネジメント
本時に関わって
- 05 当日授業の概略

01

学校教育目標

研究テーマ等

【学校教育目標】

清らかで 美しく やさしく たくましい 高遠の子ら

【全校研究テーマ】

共に歩む子どもと教師
～笑顔・意欲あふれる授業の創造～

【道徳】

対話を通して、見方・考え方を広げる道徳教育の実践

高遠小学校の子どもたち ～グランドデザインより～

【子どもの様子・課題】

- 素直で明るい
- 屈託がなく元気
- 言われたことは素直にやろうとする
- 地域（高遠）を誇りに思っている
- 相手の気持ちを慮る心情を育てたい
- 自ら挨拶をする習慣をつけたい
- 関わり合って高め合う姿を伸ばしたい



高遠小学校の課題

固定された人間関係
これまでの印象に縛られ
自分の良さを発揮できない

友だちの一面のみをとらえて
印象を変えられない

道徳授業では、正しいことを言おうとして
本音で語れていない
本当の意味での道徳観が養われているのか

“楽しい道徳授業”を通して
自らの良さを伸ばしつつ
他の子の良さにも気づき
意欲的に学校生活を送れるような集団に

4月 道徳授業について語る

高遠小学校 授業改善研究推進係

授業改善研究通信

R7. 4. 14

NO. 2

文責 宮下

I 道徳授業について（前回の研究会より）

- ・子どもたちの食いつきが良い。
- ・正しいことを言おうとして、本音で語るになっていない。本当の意味での道徳観が養われているか疑問。子どもたちにとって必要感のある問いや授業をしていきたい。
- ・教科書以外の題材では、子どもたちの食いつきが特に良く、考えている様子があった。
- ・今の自分たちの行動を立ち返らせて、授業で学んだことが実際の場面でいかされるように工夫されている先生がいた。（掲示物等使いながら）
- ・特別支援の子どもは自分で考えるのが苦手。自分ごととして考えさせる必要がある。部落差別、LGBTQ など子どもが知らないことも多いので、教えていく必要がある。
- ・グループでの話し合いをより活発にさせたい。
- ・いろんな人の考えに触れる、自分たちに似た教材を探すなど、子どもの実態に応じて考えていきたい。
- ・教科書の題材でも、自分たちに近いものは特に自分ごととして考えられた。

研究の視点

①児童が主題に関わる**問題意識**をもったり、読み物教材の登場人物の心情を考えることに終始せず、登場人物に自分を置き換え「自分だったら・・・」と**自分ごととして考え**たりする学習活動

②**他者（友、教師、作者、登場人物）との対話や協働**を通して、自分と他者との意見や考え方を比較したり、自分だけでは **気づくことが難しい気づき**を得たりしながら、様々な視点から物事を見つめることで、**見方・考え方が広がり、価値理解と人間理解・他者理解をより深めていく**学習

③**自分の考えと他者の考えを対比**したり他者の考えを聞いたりする中で、その時間に学習した内容を通して、**改めて道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認**したりして、**自分の生き方につなげることで考えを深める**学習活動

6月 事前研究会 ～全クラス授業公開～



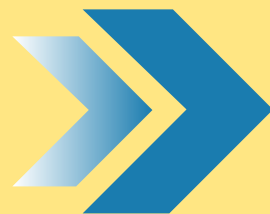
子どもが心ゆくまで追求し
自分なりの納得解を得る授業へ

対話

目的：自己の考えを広げ深める
お互いの表現を受け止め、異なる視点を得て影響を及ぼしあう

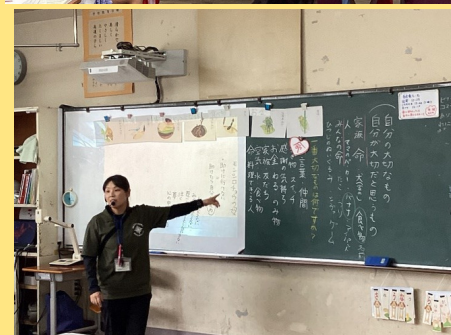
より良い授業に向けての課題…

- ・ 問題意識を引き出し、論点を明確にする導入の工夫
- ・ 子どもから自然と生まれる対話とそれを支える教師の関わり
- ・ 自分の考えや変化に気づく振り返りの積み重ね



9月 事前研究会 ～全クラス授業公開～

「心の教育」に取り組む私たち・・・



子ども達一人一人の思いや考えに丁寧に寄り添いながら、対話を通して深めていく授業づくりに真剣に向き合っている姿に感動しました。また、後の研修会では、特支級での少人数の授業を工夫して進めている話も聞き合う中で、一層、授業へかける先生方の思いが伝わってきました。子どもたちの心が確かに育っている手ごたえも感じました。

職員会議 校長の開会資料より

多面的・多角的な思考を促す対話活動

対話活動は、最終ゴールが合意形成ではなく、ねらいは児童が自己の生き方を見つめることであり、行為の選択ではなく、根拠をもとに交流することが重要である。

<交流活動のポイント>

- ア) 児童生徒が話し合ってみたいと思っているか。 (話し合う必然性)
- イ) 何について話し合うかわかっているか。 (テーマの把握)
- ウ) 話し合う材料 (根拠) はあるか。 (自分の考えを書いたノート等)
- エ) 話し合いの進め方が分かっているか。 (話し合いのルール)
- オ) 多様な考えを認め合う関係性があるか。 (学級風土)



出典：山浦貞一（信州大学大学院教育学研究科 特任教授） 2025年9月25日 講演スライドより

02 教師一人一人の成長→ 子どもの成長

NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～



出典：NITS戦略 ～新たな学びへ～ （独立行政法人教職員支援機構）

1年

道徳は楽しいな

教師

児童

道徳は子どもたちと一緒に学び、近くなる時間。
・登場人物を通してお互いに気持ちを想像したり、教師自身の子ども時代を話したりできる。
・板書や発問を工夫し、他教科にも活かしていける。
・学級経営や児童理解の時間にもなっている。

道徳の授業を楽しんでいる。
・自分の思っていることを自由に発言できる。
・劇化・ペア学習など多様な学習ができる。
・自分の生活を振り返ることができる。
・友だちと共感したり新たな考えを知ったりできる。

まとめ方がむずかしいなあ…

自分事に近づくような導入の工夫…

書くことに抵抗がある子…

2年

・読み聞かせる大切さ

教科書を持っていないと聞いていない子が内容をつかめないと思っていたが、やってみたら子どもたちはしっかり話を聞くことができていた。みんなの視線が黒板に向かい一体感があつた。

・担任が楽しむ

以前は、指導書通りに進めようと、必死だった。肩の力を抜き楽しみながらやると、子どもの良い姿が見えてきた。

・問題意識を感じていることを導入に

アンケートでおにごっこが好きかどうかの結果を導入にしたところ、いつもより子どもの反応が大きかった。子どもが困っている、気になっていることを導入にするのも良いなと感じた。

3年 自分中心から相手を意識するために

- ・ 道徳の授業が相手意識に繋がるものになってほしい。
- ・ 思いやり、命の大切さ、規則の尊重などについて考えるとき、身近な教材・資料を使うことで考えやすくなるのではないかな。

課題となったこと

発問、問いの立ち上げについて

- ・ 子どもたちから「問い」をださせるにはどうしたらいいのかな。
- ・ 子ども目線からの問いの立ち上げ、わかりやすいことば選び

授業を通して私が学んだこと

子どもたちは、実はよくわかっていたり

深く考えていたりすることが多かった

- ・ こちらが発問に対して「求めている言葉」は、出てくることが多かった。「そんな考えもあるのか」と学ばされることもよくあった。
- ・ 3年生の語彙力、表現力では思っていることを言語化できない気持ちや思いを汲みとり言語化する支援も必要。
- ・ 道徳以外の授業や話し合いの中で、「道徳でやったじゃん」という声が聞かれた。すぐには変わらなくても子どもの中には道徳の授業は積み重なっている。

道徳、考えることが楽しいという児童がふえた

4年 資料の提示の仕方を工夫する大切さ

子どもたちの意識からかけ離れてしまった資料の提示

世界で1人がなくなるスピードから給食の残食について考える授業

教師

残食が多いから、世界の実情を知って自分たちの姿を振り返ってほしい。

児童

スライドで世界の実情を知っても、イメージ、ピンとこないな。ぼくらに関係がよくわからない？

子どもたちにとって「自分事」になっていない・・・

資料の提示の仕方を工夫した場合

さまざまな状況踏まえて誰から車に乗せるかを考える

「思いやり」についての授業

教師

相手の様子や状況を考えて行動する大切さを考えて欲しい！

児童

映像から見た目で判断してものごとを考えてはいけないと思った。相手の状況も考えないといけないな。

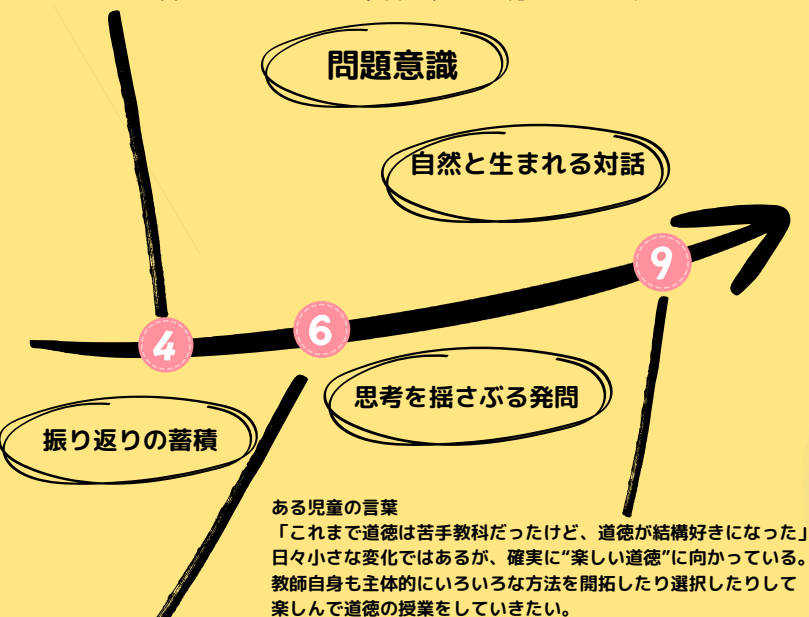
子どもたちが課題を自分のこととして捉えやすくなっている。

5年

道徳授業が楽しいとは言えない教師・子ども。

教師が想定する流れや結論を押し付ける授業になりがち。

正しいことを言うのではなく、本音で語る道徳にしたい。



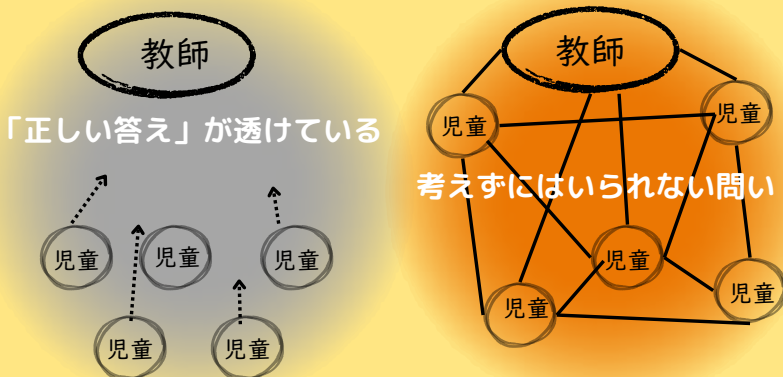
問題意識を持って追求する子ども。自分の考えを書くことや自然な対話も増えた。教師自身も子どもとともに考える道徳授業の楽しさを感じ始める。と同時に、まだまだ教師に誘導される授業スタイルから抜け出せず、モヤモヤ・・・

6年

語り出す子ども

教師が「語らせたい」ときは、限られた子どもだけの発言。いわゆる「正しい答え」が透けているときはわざわざ語りたくない？

「なぜだろう」「どうしてだろう」「どうしたらいいのだろう」と、本気で考えたくなる問いと出あったとき、子どもは自分の考えを語り出し、友の考えにも耳を傾けたくなる。



オープン1(知障学級)

子どもたちが気づく・教師も気づく

授業で扱う教材の中では正しいことは知っているが実際の場面は、自分の主張ばかりで言い合いになることも多い。どのくらい理解できているのだろうか？

友達の言葉に子どもたち同士が反応する支援

今やるから
待ってね

ナイス👍

はい！(返事を
してくれたのうれ
しいね)

生活

まだ小さいからなあ…
いいよ許す！

すごい！
ありがとう！

子どもたち同士の関わりと笑顔が増えた

一緒に生活する中で、言葉を添えてみる、認め合ってみることで子どもたちの中に育っている力や、本当は仲良くしたかったけれどやり方が分からなかった実態に気づかされた。

オープン2(自情障学級)

自分の気持ちを考えること

子ども

自分の考えを言葉
で伝えるのが難し
い様子

教師

どうやって進めよう
子どもの発言を
待てない

山浦先生のお話から…

「子どもは主人公を通して自分ごととしてちゃんと考えているんですよ。」



子どもは自分ごととしてしっかりと考えているのだから、自分の考えを言うことを求めず、その姿をしっかりと受けとめ認めるようにしたい。

教師の成長

学習意欲を生み出す（人が最も成長する） 『3つの動機』

- 競争動機 . . . 勝つ喜び
- 理解動機 . . . わかる喜び
- 感染動機 . . . 憧れ、感化されること

競争動機は勝った瞬間、理解動機はわかった瞬間に満たされるが、感染動機は長時間にわたって続く。単なる知識に止まらず、人間全体への感染・感化、人間全体への影響を与えるのが「あこがれ」である。

宮台真司(社会学者)

03

ゆれる教師

教師の立ち位置

ねらいに沿った授業を展開したい
指導する側の指導観や都合を優先

教師としてのわたし
(教師としての自分)

個人としての価値観
1人の人間として迷いや葛藤を抱える私

個人としてのわたし
(個人としての自分)

子どもと語り合う1時間に

教師としてのわたし
(教師としての自分)

個人としてのわたし
(個人としての自分)

- ・ 手品師が自分の心と向き合って出した結論の良さ
- ・ 約束を守ることが手品師にとって自分自身に誠実に生きること
- ・ 自己犠牲の中にこそ誠実さがある

- ・ 夢をあきらめることが本当に正しいのか
- ・ 自分の人生を生きること
夢を追い続けることにも価値がある
- ・ 自分の夢や幸せを追い求めることも誠実な生き方ではないか

誠実に生きるとは…

授業を通して、教師自身も一緒に考えたい

教師の立ち位置

教師が楽しんで道徳の授業をしている姿は、間違いなく子どもに伝わる。

- 子どもと共にある私（教師）とは、
共に考えようとする共感的姿勢を持ち続ける私、
共に想いを語り合う私（教師）でありたい

※学習指導要領で示される内容項目は、親や教師をはじめ全ての大人、日本人に求められるものである。そして他教科のように既知の知識や既得の技能等によって実践可能なものでもなければ、発達段階による易から難へというプロセスもないということである。

また道徳問題は、決して子どもの外に存在せず、正に自分のことを自分で考える学習活動であるということである。

善いことと知りながらそれができない。悪いことと知りながらそれをしてしまう。そんな人間の弱さに立脚し、それでもより善く生きたい。そのように行為したいと自らの価値体系を豊かに構築し続ける子どもの育成を目指したい。

(H27 学習指導要領解説道徳編)

- 道徳授業観の一つの軸として、
子どもたちの主体性を引き出す伴走者でありたい

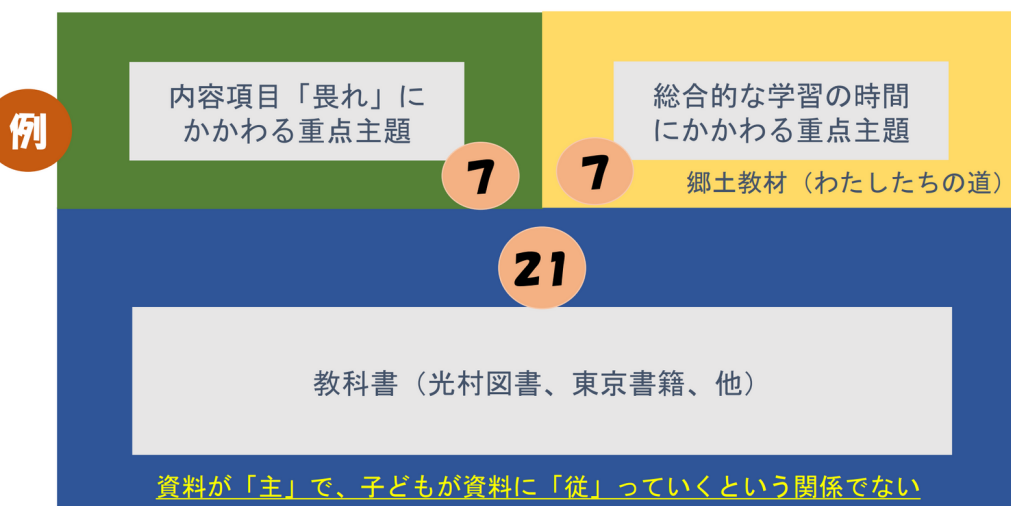
「人にものを教えるということは、教えられる側が教える側に全てをさらけ出すだけでなく、教える側が教えられる側に全てをさらけ出すべきだ」

04

道徳科のカリキュラムマネジメント 本時に関わって

道徳科のカリキュラム・マネジメント

教科書が提示する年間指導計画に、地域の伝統文化や命の教育など**重点的に**学校で取り組みたいものがあれば**教材を差し替える** = **学校の主体性（特色化）**



- ☛ 郷土教材（信教副読本）・自作資料・私たちの道徳（文科省）など
- ☛ カリキュラム・マネジメントのキーパーソン = 道徳教育推進教師

当日授業

かける
「幸せに生きる×_____」

7

総合的な学習の時間に
関わる重点主題

郷土教材（わたしたちの道）

7

21

教科書（光村図書）

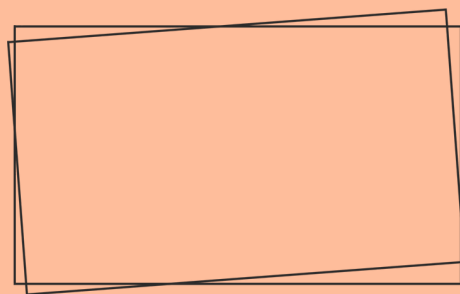
高遠の桜、石仏、内藤家
高遠城址、伊澤修二、
高遠石工、高遠そば…

05

当日授業の概略

幸せに生きる

かける



子どもたちが考え合いたいこと
もの・自由・友だち・家族・命・愛・働く

単元展開のイメージ

※R7.11.6 時点での予定

	テーマ	題材	内容項目
1	自由	修学旅行の夜	自由と責任
2	友だち	ロレンゾの友だち	友情、信頼
3	もの	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	よりよく生きる喜び
4	働く	「働く」ってどういうこと？ 自作資料	勤労、公共の精神
5	愛	自作資料	相互理解
6	家族、命	たったひとつのたからもの	家族愛、生命の尊さ

子どもたちが考えたい6つのテーマをもとに、「幸せに生きる」ことについて追求しています。
当日は「幸せに生きる」× 1つのテーマについての授業を行う予定です。
指導案は当日配布いたします。